

岡山大学

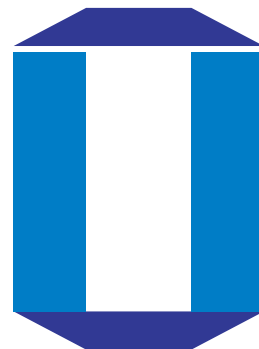
教育学部

OKAYAMA UNIVERSITY
SCHOOL OF EDUCATION

● 学校教育教員養成課程

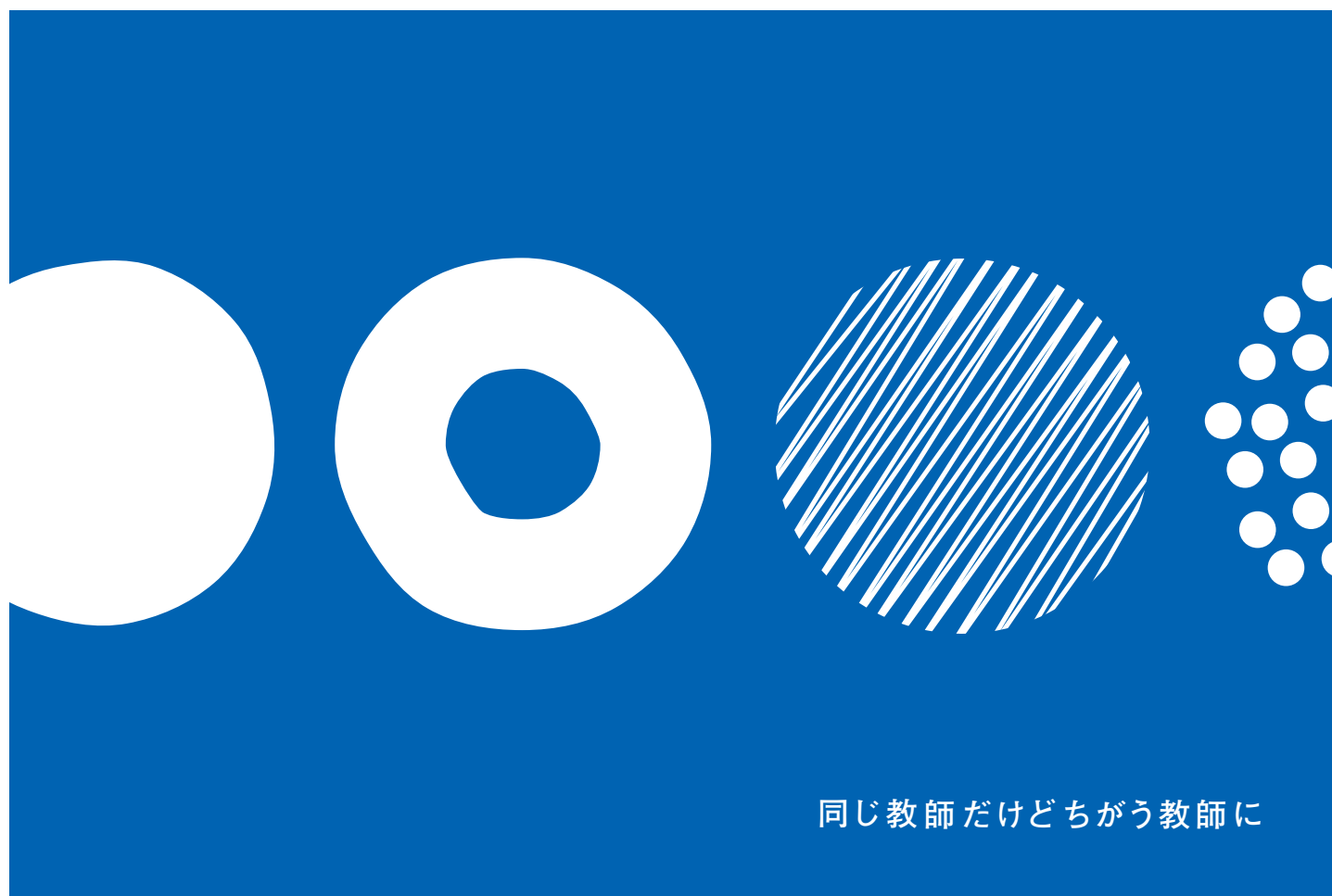
- ・ 小学校教育専攻
- ・ 中学校教育専攻
- ・ 特別支援教育専攻
- ・ 幼児教育専攻

● 養護教諭養成課程



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



同じ教師だけどちがう教師に

在校生の声

岡山大学教育学部で学ぶ、学生たちの声をお届けします。

VOICE.01

竹之内萌未さん 養護教諭・3年次

私は、保健室に入室した際に温かく迎え入れてくれる養護教諭に憧れをもち、養護教諭になりたいと考えるようになりました。そんな私が岡山大学を志望した理由のひとつが、教育的な視点から養護教諭について学べるということです。学校の先生が教科を教えるように、養護教諭にも児童生徒が健康に生きるための知識や実践力を教える大切な役割があります。養護教諭は怪我や体調不良者への対応という看護的な一面をもちつつ、児童生徒が健康に生きていけるような支援・指導という教育的な一面をもっています。1年次には他の教員を目指す方たちと主に教職について学び、2年次には学校看護学などの授業で、養護教諭に必要な専門的な知識や技術を学びます。私自身2年間の授業や実習を通して、今まで知らなかった養護教諭の仕事や役割を知ることができました。また、実際に働いておられる養護教諭の方の話を聞く機会を経て、養護教諭の魅力をより一層知ることができました。これから3、4年生の病院実習や養護実習で学んだことを実践し、実践力を高めていきたいと思います。岡山大学では、30人の仲間たち、先輩や後輩、経験豊富な先生方と、将来に向けて楽しく学ぶことができます。ぜひ一緒に学びませんか。



養護教諭

VOICE.02

小松彩乃さん 特別支援教育・4年次

私は、自分の思いや考えを認めてくれる幼稚園の先生のことが大好きで、こんな素敵な先生になりたいという思いを小さい頃から持っていました。学校生活で自閉症の子や様々な人と関わる中で、障害をもつ人と障害をもたない人が共に生きていくために、自分に何ができるだろうかと考えるようになり、特別支援教育について興味を持ちました。そして、「光とともに」という本など、様々な本を読む中で、子どもの思いを受け止め、寄り添って教育を行うことができる教師になりたいと思い、特別支援教育コースを受験しました。

大学では、4年間のカリキュラムの中で、教育や障害について基礎的なことから知識を深めることができるだけでなく、講義の中で事例を用いて多面的に考えることを通して、子どもの特性や実態に応じた教育について考えることができる力や、実習を通して、学んできたことを現場で活かすことのできる実践的な力を身に付けることができます。

特別支援教育コースは少人数で仲が良く、先生方も優しいので、何か困ったことや分からないことがあったら、いつでも相談でき、助け合うことができるアットホームな環境です。ぜひ一緒に岡山大学教育学部で学んでみませんか？お待ちしております。



特別支援教育

VOICE.03

小畑楓奈さん 幼児教育・3年次

私が岡山大学を選んだのは、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方が取得でき、入部したいと思っていた体操部があるという条件で大学を調べているうちに、岡山大学の幼児教育専攻で学びたいと強く思うようになったのがきっかけです。

幼児教育専攻の一番よいところは、少人数で、同学年はもちろん、先生方や先輩、後輩との繋がりが強いという点だと思います。先生方はとても優しく、親しみやすいです。幼児教育で重要な「信頼関係」がしっかりと築かれているため、先生方のおかげで、安心した気持ちで学ぶことが向かうことができます。また、先輩と一緒に模擬保育をしたり、実習の話を先輩からお聞きしたりと、学年を超えた交流がたくさんあることもとてもよいと感じています。中でも幼児教育講座には学外合宿研修があり、学生全員と先生方とで施設に宿泊し、1～4年生の縦割り班で劇を作って発表したり、運動会をしたりして、親睦を深めています。私は昨年からの合宿の運営に携わり、次の合宿に向けて準備をしています。それ以外にも私は、休日には高校生の頃から続けている子どもたちのキャンプの企画運営をするボランティアもしていて、忙しいながらも充実した大学生活を送っています。私は、この4年間で保育者になるために必要な保育士資格と幼稚園教諭免許状を取得し、他にも副免許の取得も目指しています。将来は、自然とたくさん触れあいが子どもたちと一緒に成長していきたい先生になりたいと思っています。充実した日々を過ごせるこの岡山大学教育学部幼児教育専攻で、一緒に学びませんか。



幼児教育

VOICE.04

藤田実紗さん 小学校教育・2年次

教師という職業には幼いころから漠然と憧れがありました。私の中で「先生」は何でもできる万能人だったからです。そんな姿に憧れて教師を目指した私ですが、ふと、目指す先はそれでよいのだろうか大学の授業を受ける中で思うようになりました。教師は何でもできるように子どもたちの前では振舞うけれど、実は裏でたくさん苦悩し葛藤していて、その過程でいかに踏ん張れるか、周りの人と協力できるか。求められているのはそういう力なのだと思います。

私は小学校教員になるという夢に向かって、岡山大学教育学部の新カリキュラムに沿って学んでいます。このカリキュラムでは、1年生から関心事によってクラス分けが行われます。私は学級経営をはじめ幅広く教育学に関心があり、教育学、教育心理学を中核とする教育基盤推進クラスで学んでいます。他にも、教科教育を核とする学校教育開発クラス、ESD・SDGs教育を核とする先端教育開発クラスがあります。多くの講義がこのクラスごとに行われるので、小中高時代のようなクラス間での交流があり興味関心の合う友人ができやすいのが特徴だと思います。教育学部を考えている皆さんは、将来何らかの形で教育に関わりたいと考えられていると思います。今の私ができるアドバイスは、学生時代を思う存分楽しんでほしいということです。経験だけで教育を語ることはできないけれど、皆さんがどんな経験をしてきたかは教育を考えるうえで必ず生きてきます。岡山大学で皆さんと教育を創っていく日が来ることを楽しみにしています。



小学校教育

VOICE.05

中谷紗也さん 中学校教育(国語教育)・2年次

岡山大学の教育学部に入学しようと思ったのは、実習が2年生からあるため、早くから経験を積めると思ったからです。また、中学校専攻では最初から教科が分かっているため、私が好きな国語に絞って勉強することができると感じました。

岡大教育の特徴は、授業中に同じ学部、学科の人たちとディスカッションをしながら自分の学びを深められるところだと思います。また、先生とのコミュニケーションをしっかり取れるところも魅力だと感じています。私自身、自分の不安な部分や悩みを先生に聞いてもらって、すぐ助けられました！

私は今、国語科で教材の研究をしながら、自分の考えていることを言語化する力を身につけることを頑張っています。一つ一つの教材や国語の面白さを自分なりに伝えることで、子供が自分の言語能力を高めながら、国語というものに興味を持ってもらえるような授業を作りたいと考えています。岡山大学の教育学部では、自分のやりたい教育が見つかるし、教育に関する基礎をしっかりと教えていただけます。また、他の学科の人との交流もあり、たくさんの新しい考え方に会うこともできます。もし困ったり不安に思った時は必ず仲間が助けてくれるので、安心して岡山大学で新しいステップを踏み出して欲しいです！



中学校教育



養

護教諭

前池清音さん R1年度卒業 倉敷市立中島小学校(養護教諭)

働き出して4年目...大規模校で、多くの子どもや先生方から毎日様々な刺激を受けて過ごしています。高校の時、養護教諭に憧れて岡山大学に入学。私は「ノミの心臓」と言われるほど根っからの緊張しいで、養護教諭にむいていないかも...と思ったこともあります。目指してきたものの、自分のやりたいことではなかったらどうしよう、とも。しかし大学時代も現在も、他の様々な養護教諭の姿を見る度に「素敵だな」と思います。どのような子のことも愛おしく話し、時には保護者や周りの先生、外部の支援とも繋がりながら、子どものために工夫する姿は、「何かしてあげたい」という気持ちを形にできる養護教諭の可能性を感じます。学校の中で、全校児童生徒と関わりをもてる数少ない存在です。その一人一人の成長を見られたり、幸せな将来のための種まきができたりする、養護教諭は奥の深い仕事だと思っています。ノミの心臓なりに励む中で、確かなやりがいを感じています。

大学時代の講義や実習での学び、出会った友人や先生方は私の財産です。共通の興味、関心事について話したからこそ、今でも違う自治体や違う職で働く友人とお互いの経験を共有したり相談したりします。みなさんが、心を豊かにし合えるような存在に出会い、素敵な大学生活を送られることを願っています。

VOICE.02



支

援学校教諭

表祐司さん R2年度卒業 岡山県立岡山東支援学校(教諭)

特別支援学校の教員となり1年が経ちました。毎日があっという間に過ぎていきますが、子どもたちの小さな変化や成長を心から嬉しく感じる日々を過ごしています。

教育に携わる中で、私は「考えること」の大切さを強く感じています。子どもたちの日頃の姿から、わくわくする仕掛けは何かと、周りの先生方にも相談し、試行錯誤しながら取り組んでいます。一生懸命に考えた授業を実践したとき、目の前の子どもたちの楽しそうな姿を見ると、喜びと同時にまた頑張ろうと思うことができます。

在学中には、専門的な講義や実習、ボランティアなどを通して、様々な経験を積むことができました。そこで得た多くの学びは、今私が子どもと向き合い、考えるための土台になっています。そして、在学中に出会った方々は、教育への思いを語り合ったり、時には励まし合ったりできる存在であり、お互いの考えを深め合える大切な仲間です。

これから教員を目指すみなさんにも、教育にかかわらず、様々な経験や出会いを積み、自分なりに考えるための土台を築いてほしいと思います。お互いに頑張らしましょう。

VOICE.03



幼

稚園教諭

畠山実沙さん H28年度卒業 岡山市立平井幼稚園(教諭)

3年保育の幼稚園で勤務して5年が経ちました。自然あふれる環境の中で、季節の移ろいを五感で感じながら、子どもたちと楽しい生活を送っています。

子どもたちが「やってみよう」「面白い」と感じて主体的に遊びに向かうことができるよう、様々な環境構成や援助を試行錯誤しています。正解は一つではなく、保育次第で子どもたちの姿が変わるところがこの仕事の難しさでもあり、面白さだと思います。また、初めての集団生活の中で、たくさん笑って、たくさん泣いて、心も体も日々たくましく成長していく子どもたちの姿に驚かされながらも嬉しく思い、やりがいを感じています。

在学中は、教育の基礎や専門的な幼児教育の知識を学びました。卒業後も、その学びが保育経験とつながることで、より深く理解することができています。加えて、大学生活の中で、先生や友人から多様な考え方や人との関わり方を学べたことも貴重な経験だったと思います。皆さんも岡山大学で人間の幅を広げ、夢に向かって頑張ってください。応援しています。

VOICE.04



小

学校教諭

吉田智咲さん R2年度卒業 高知市立秦小学校(教諭)

採用されすぐに1年生の担任になり、元気いっぱいかわいい子どもたちと充実した日々を送っています。実際の教育現場は大変なこともあります。子どもたちの笑顔や生き生きとした姿を見たり、成長を感じたりすることができて、とても幸せです。目の前にいる子どもたち一人一人に寄り添うこと、そして、子どもたちと一緒に成長し続ける教師でありたいと思っています。

在学中には、「教師になる」という夢を叶えるために、専門的な講義や教育実習を通して、教師としての知識や技能を習得することができました。中でも、カナダのAlberta大学への長期留学では現地の学校の学生や保護者、教員と触れ合うことができ、とても貴重な体験をすることができました。岡山大学の素晴らしい先生方や、夢と目標を持って努力している仲間と過ごした日々は、私にとって大切な宝物です。

みなさんが岡山大学で充実した大学生活を送り、夢が叶うことを応援しています。

VOICE.05



中

学校教諭

松原政裕さん R1年度卒業 米子市立福米中学校(教諭)

私は、教員となり、3年間担任をさせていただきました。学校現場には、本当にいろいろな生徒がいて、毎日たくさんのごことが起こります。その中で生徒と共に楽しみ、悲しみ、悩み、そして生徒に心を動かされることがあります。これが教員の最大の魅力だと感じています。正直、決して楽な仕事ではないです。辛いことや悩む日のほうが多いです。「大人が悩んでいるときは、生徒はきっと幸せだ」先輩の教員から頂いた言葉です。私の心にずっと残っています。中学生は、勉強、部活、友人関係、親との関係など日々悩み、どうしたらいいかわからないことの連続の中で生活しています。自分の仕事は、悩み、怒り、苦しみ、楽しみ、その中で成長していく生徒たちの「幸せに暮らしたい」「いつかこうなりたい」という心の中にある願いや叫びを感じ、思いやり、応援してあげることだと思っています。生徒の人生にとって、大切な時期に関わることでできる仕事に責任と誇りを感じています。

私は、自分自身の強みは、生徒の心に寄り添おうとする力だと思っています。これは、岡山大学で研究室の仲間や先生方が悩んでいた私に、寄り添い、語り合ってくれたおかげだと感じています。また、同じ教員という道を目指す仲間がいてくれたことが、自分にとっての財産となり、今でも、心の支えとなっています。

みなさんもこの岡山大学で素敵な仲間と出会い、将来素敵な生徒と出会われることを願っています。

学部紹介

岡山大学教育学部は、学校教育教員養成課程と養護教諭養成課程の2つの課程で構成されています。

教員を目指すなら

学校教育教員養成課程

学校等の教員を養成する課程です。「小学校教育専攻」「中学校教育専攻」「特別支援教育専攻」「幼児教育専攻」のいずれかに所属して、専門的知識と指導方法を学びます。

また、学校での児童・生徒の実態を理解し、指導方法や実践力を身につけるため、附属学校・園で教育実習を行います。最初の2年間は観察・参加型の実習を、3年次2・3学期で教壇に立つ実習を行います。4年次にも副免許用の教育実習や、公立学校で実践的経験を積む「教職実践インターンシップ」を用意しています。

卒業時には、所属に応じて小学校教諭、中学校教諭(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)、特別支援学校教諭、幼稚園教諭の教員免許状や保育士の資格などが取得できます。

01 小学校教育専攻 (17プログラム(地域教育*を含む))

小学校教員を目指す学生が所属します。小学校教員は、児童の教育や学習過程に関する理解の他に、10教科をすべて教える能力が求められます。そのため、教育理論や指導法、各教科の専門的な内容を学ぶための授業が開講されています。さらに、自信をもって複数科目の指導ができるよう、確かな授業研究推進力も身につけていきます。

学生は多彩な17のプログラム(ESD・SDGs教育、創造性・STEAM教育、心理データ支援教育、教育学、教育心理学、幼児教育学、特別支援教育学、地域教育、国語教育、算数教育、社会科教育、理科教育、英語教育、音楽教育、図画工作科教育、体育科教育、家庭科教育)のいずれかを選択し履修します。ESDなどの先端科学教育領域に加え、教育学、教育心理学のプログラムでは、教育の本質や目標、学習過程や児童の発達などを専門的に学びます。また、国語教育など教科のプログラムでは、各教科の内容をそれぞれ専門的に学びます。

02 中学校教育専攻 (11コース(地域教育を含む))

中学校教員を目指す学生が所属します。学生は、教科教育等を専門的に学ぶために、11コース(国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育教育、技術・工業教育、家政教育、英語教育、地域教育)のいずれかに所属します。

この専攻では、各教科に関する専門的知識・技能を修得し、文化・技術の継承と創造力の育成を目指します。関連して、生徒に必要な学力を身につけさせるための効果的な教材や指導方法を研究し、実践することを学びます。

03 特別支援教育専攻

特別支援教育に関する専門的知識と技能を備えた教員を養成します。

特別支援教育は、障害児教育学、障害児心理学、障害児医学など、幅広い領域の学問から成り立っており、これらの専門的知識を系統的に学ぶためのカリキュラムを用意しています。

特別支援学校に勤務するための特別支援学校教諭免許状は、基礎資格として小学校教諭免許状か、あるいは中学校教諭免許状が必要です。このため教育実習は、観察・参加型の実習を経て、3年次2・3学期に附属小または中学校で4週間、附属特別支援学校で3週間行うことになっています。

04 幼児教育専攻

幼児教育に関する専門知識・技術だけでなく、家庭教育、保育所保育や小学校低学年の教育に精通した教員を養成します。

幼児教育専攻では、幼児教育の意義・歴史・制度の学習を通じて幼児教育の基本理念を学び、講義と実習を通じて幼児の世界に対する理解を深めます。そして、幼児の成長や発達の支援に望ましい経験をしたり、指導方法を修得します。

本専攻では、幼稚園教諭一種免許状が取得できるほかに、保育士養成も行っていますので、保育士資格の取得が可能です。

養護教諭を目指すなら

養護教諭養成課程 (地域教育を含む)

幼稚園ならびに小・中・高等学校で、児童・生徒の心とからだの保健管理と健康教育を行う養護教諭を養成する課程です。

養護教諭は、保健室で救急処置をするだけでなく、健康診断・健康相談・保健指導など、成長期にある児童・生徒の心とからだの悩みなどに専門的に関わる大切な役割を担います。また、将来も健康な生活を送れるように指導する健康教育を担当します。

「養護専門科目」で、心とからだの仕組み、子どもの発達、生活・環境・社会と健康の関係、健康の成立と支援方法などの基礎を学びます。養護概説、健康相談活動、学校救急処置、保健科教育など養護活動の実践的な内容も学びます。また教育職員として必要な「教職専門科目」を学びます。

養護実習は、2年次に附属学校・園で、観察・参加実習を行います。3年次には附属学校・園や協力校で本格的に実習を行い、4年次には「教職実践インターンシップ」も行われます。大学で学んだ理論を養護実習で実践に結びつけるだけでなく、自ら課題を発見・解決し、学び成長する力を育成することを目的としています。

卒業時には、養護教諭一種免許状が取得できます。

なお本課程は、国立大学法人で中・四国地方唯一の養護教諭養成課程です。

*地域教育

岡山県北地域教育プログラム選抜によって選ばれた学生が所属します。学校教育教員養成課程の「小学校教育専攻」「中学校教育専攻」と養護教諭養成課程の中に設置されています。学校教育教員養成課程では、小・中学校教諭の両方の教員免許状の取得、あるいは中学校教諭の複数の教科での免許状取得を目指します。1年次から岡山県北地域での実習を開始し、2年次からは特定地域を「ホームタウン」に定めた実習や演習を卒業まで継続することで、地域や学校の課題を発見・解決するための資質・能力を高めます。

教員免許状の取得

教育学部で取得できる教員免許状の種類は多く、異なる教員免許状の取得を目指す学生が共に学び合うことができるのは、魅力の一つです。

取得可能な教員免許状等

学校教育教員養成課程
・小学校教諭一種免許状
・中学校教諭一種免許状 (国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語)
・高等学校教諭一種免許状 (国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、家庭、工業、英語)
・特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)
・幼稚園教諭一種免許状
養護教諭養成課程
・養護教諭一種免許状
・中学校教諭一種免許状(保健)
・高等学校教諭一種免許状(保健)
資格
・学校図書館司書教諭
・保育士(幼児教育専攻のみ)

入学後に決定される配属先や授業時間割上の制約により、希望する免許状のすべてを卒業時に取得できるとは限りません。

同じ教師だけど ちがう教師になるために。

次世代の 教員養成に向けた 新たなカリキュラム。

コンセプトは、「多様性に対応できる授業に強い教員を育てる」。学習者一人ひとりに寄り添い、学びの場を作ることができる教員を、4年間の体系的なカリキュラムの中で育てます。カリキュラムの中で、私たちが特に力を入れているのが、学習者の視点から学びをデザインできる力の養成です。岡山大学の新しいカリキュラムでの学びを是非体験してください。

教員紹介

教育学部はミニ総合大学。多分野にわたるいろいろな授業を個性豊かな教員が担当しています。



松浦 藍

〈美術教育〉

私たちは毎日「感じ方」を新しく変えています。その人だから感じとれたことは、その人にしか生み出せない価値に変わり、新しい視点となります。新しい視点で

日常を見ると、昨日まで気にも留めなかった道端の小石は、「地球の欠片」や、「遊び道具」とも言えるし、「好きな人と話すきっかけ」にもなります。図画工作や美術の授業では、価値なんてないと思ったものを、子どもたちの力で素敵な「何か」につくり変える創造的な営みがなされています。では、子どもたちが、この世界に生み出された全ての価値を慈しみ、より豊かな社会を創れるようになるには、どんな先生になったらいいのでしょうか。皆さんと一緒に考えていけることを楽しみにしています。

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部)、木下(工学部)、奥(農学部)



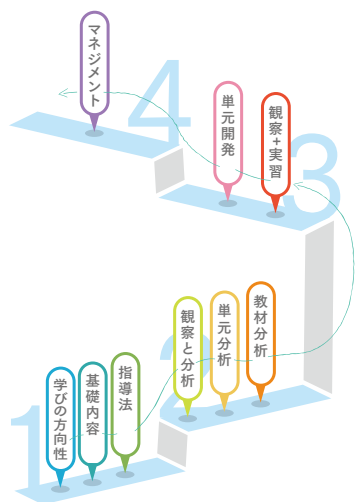
問い、実践、感動、 学びの基本をベースに。

何のために、何を学びたいかという学習者の思いは様々です。それを踏まえて、今の教育を見つめなおし、学びの新しい価値を生み出すことができる、そんな教員を育てたいと思っています。知識を子どもたちに伝えるだけの単なるメッセンジャーではなく、教育実践を通して子供たちとともに成長し続けることができる先生、それが私たちの理想です。

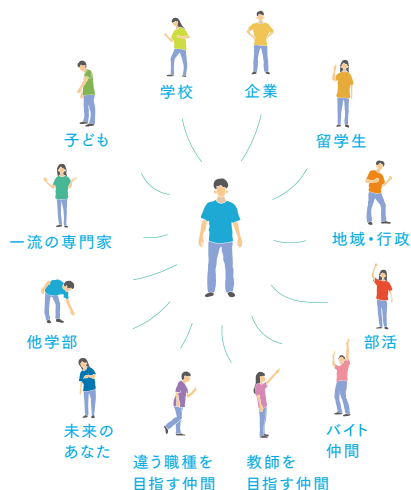
豊富な実践の機会であ 仲間と経験値を蓄える。

先生の仕事で大切なことは、課題解決に向けたチームワークです。そのため、私たちの新しいカリキュラムでは、入学から卒業まで、仲間や先輩とともに様々な課題にチャレンジできる機会を豊富に用意しています。目標に向けて切磋琢磨する仲間によって構成されたチームの力は、皆さんを支え、勇気づけてくれます。

POINT
3



POINT
4



POINT
5



新時代に対応できる 実践力を育成。

岡山大学教育学部は、全国の教員養成大学に先駆けて4つの附属学校園における実習を核とした教員養成カリキュラムを体系化し、実践力の育成に取り組んできました。今、その伝統に甘んじることなく、カリキュラムを一新し、新時代のSociety5.0に対応でき、子どもの学びをつくる教育実践力をもった教員の養成に向けて一歩を踏み出しました。

総合大学としての誇り。 意思を磨く多様性。

11学部1プログラムを抱える総合大学であり、世界50か国に同窓会組織を持つ岡山大学には、様々な専門家や、様々な国や地域の方との出会いがあります。また、岡山市の中心部に位置し、一步大学の外に出れば、地域の様々な方と触れ合うことができます。そのような環境で自分の可能性を切り拓き、教育の力で未来を創造できる先生を目指しませんか。

「おもしろい」でつくる 先端教育領域。

持続可能な世界の構築に真正面から取り組む「ESD・SDGs教育」、ICTを活用して感性に基づいた創造性の育成に取り組む「創造性・STEAM教育」、そして子どもたちを正しく理解するための手法とその応用に取り組む「心理データ支援教育」という、三つのプログラムが新設されました。



詳しくはこちら



石橋 一昂

〈 数学教育 〉

「数学パワーが世界を変える」と言われるように、現代社会では数学の知識や能力が産業界をはじめとする各方面で重要とされています。また算数・数学の学びは、生活の様々な場面で必要な創造力や批判的思考力などの育成にもつながります。このように、算数・数学の学びは全ての子供達にとって不可欠です。しかし、算数・数学は子供達にとって難しい教科です。そのため、算数・数学の先生には、子供達が算数・数学の知識や能力を身につけ、算数・数学の楽しさや面白さを実感し、自ら学び続けるための支援を行うことが求められています。私達と一緒に、目の前の子供達の人生を豊かにする算数・数学教育を探究しましょう!

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部), 木下(工学部), 奥(農学部)



詫間 千晴

〈 家庭科教育 〉

家庭科の目標は、子どもたちに「よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する」ことです。皆さんにとって「よりよい生活」とはどのようなものなのでしょうか?美味しいものを食べられる生活でしょうか?好きな服を購入して着られる生活でしょうか?人によって「よりよい生活」の形は様々です。家庭科では、家族・家庭生活、衣食住生活、消費生活・環境の学習を通して、自己と他者の価値観や考え方の違いを知り、生活の枠組みを広げ、子どもたち一人一人が自分自身の「よりよい生活」を探究していきます。人間の生涯にわたって必要な資質・能力を子どもたちに育むために、「よりよい」家庭科の授業を一緒に考えてみませんか?

撮影：岡山大学写真部 酒井(教育学部), 木下(工学部), 奥(農学部)



原田 太郎

〈 理科教育 〉

理科は、自然現象を扱う教科ですが、さまざまな学問分野の研究の蓄積の上に成り立っています。例えば、生物学では、生命現象の「いかに?」(機構)や「なぜ?」(進化的意義)を問い、科学的な手順に則って真理を探究していきます。私自身も、植物を対象とした研究を通じて、生命の奥深さや自らの手でその一端を解明することの尊さ、それを継承していく役割の重要性を日々感じています。理科教師は、学習者の立場をふまえた指導法を身につけ、科学・医療技術、生物多様性や気候変動などのテーマを通じて、環境教育や持続可能な開発のための教育(ESD)にも貢献することができます。若い皆さんの奮起と参加を心よりお待ちしております。

岡山大学教育学部 教育実践力向上カリキュラム

教員養成に向けた特色ある取り組み

教育学部では、令和5年度より新しいカリキュラムがスタートしました。それは、実習（及び事前・事後科目）を機軸として、授業で培った知識や思考力などが連動する、教育実践力向上カリキュラム（スパイラル・モデル）。子ども達と触れ合い、現場の先生方から多くを学ぶ「実習」と、専門的な知識等を学ぶ大学での「授業」が、螺旋状に、合理的に組み込まれ、有機的に結び付けられています。また、「先生になりたい!」という同じ思いを持った仲間と学び合い、支え合いながら、細やかな指導のもと各専攻等で求められる専門性や資質・能力を高めます。

教育実践力向上カリキュラム（小学校）

	1学期	2学期	3学期	4学期
4年生	指導法開発II:授業研究マネジメント		教職実践演習	
	教育実習II:副実習		教職実践インターンシップ	
3年生	指導法開発I: 教材・単元開発と学習評価		内容開発: 教材・単元開発	
	教育実習II:主実習〔観察+教壇実習〕			
	教育実習基礎研究:実習事前指導(学習指導計画、模擬授業)実習事後指導			
2年生	内容構成論I:教材分析		内容構成論II:単元・カリキュラム分析	
	指導法I: 教科の各領域の教材論と指導法		指導法II: 先輩の教育実習の観察・運営	
	教育実習I:先生方の授業観察・分析の実際			
	教育実習基礎演習:授業の観察力・分析力の伸長			
1年生	内容基礎: 教科を構成する 基礎的内容		指導法基礎: 教科の目標、子どもの 実態を踏まえた指導法	
	教職実践入門セミナー 教師をめざす自らの 学びの方向性を確認		教育実習基礎論: 授業づくりの基礎 授業観察・分析法	

※開講時期など変更となることがあります。

教職支援体制

教員を志望する学生を、3側面から応援する体制をとっています。

1. 教職相談室

教職OBの専任教員（教師教育開発センター教職支援部門）が、教員採用試験情報の提供、個々の学生への個別相談、面接の指導、論文の書き方等、きめ細かな指導を毎日行っています。

2. 教員採用試験受験に向けた講座・教職ガイダンス

毎年12月から翌年5月にかけて、「教採集中セミナー」、また各県等教育委員会による「教員採用試験説明会」を行っています。また、学部1～3年次生を対象に、それぞれに合わせた内容の「教職ガイダンス」を開催し、次年度以降の教員採用試験に向けた指導を行っています。

3. 教師力養成演習

教職を志望する学生の「教師力」「授業力」「生徒指導力」など、教育実践力を高めることを目的として、現場で活躍しておられる公立学校の先生等の講演会やその講演をおさめたDVDの視聴を通して指導を行っています。

このような教職支援体制で、教員を希望する学生の期待に応えています。



附属機関

教育学部は、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校を併設し、先進的な教育活動・教育研究を充実させる体制を整えています。

また教育実習の企画・運営や教職支援・教職相談、学校支援ボランティア等の学校現場と連携した活動を支援する「教師教育開発センター」が全学センターとして設置されています。



附属小学校



附属中学校



附属幼稚園

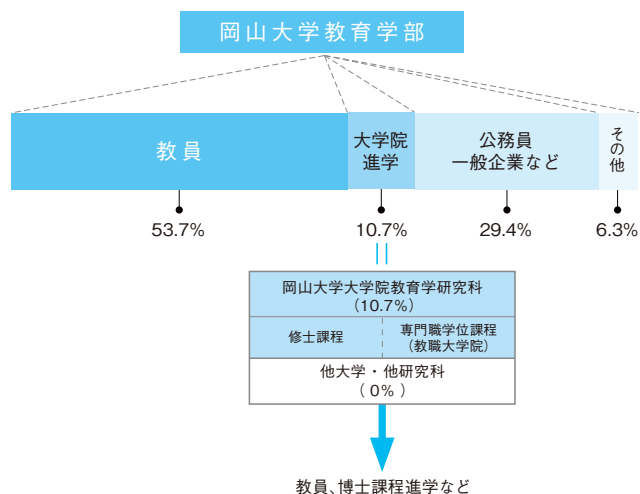


附属特別支援学校

実績ある教員就職と充実した大学院

岡山大学教育学部の卒業生で教員を希望する者のうち、ほとんどが教員に採用（期限付きを含む）されています。「教職相談室」をはじめとする学生支援体制の成果が表れています。

卒業後の進路では、教員への就職の他に、大学院進学や公務員・一般企業へ就職しています。岡山大学には、専門職学位課程（教職大学院）と修士課程からなる大学院教育学研究科があり、研究環境が充実しています。大学院で理論と実践を磨いた後に教員になる者も多数います。



●岡山大学教育学部卒業後の進路（令和5年3月卒業生の進路別比率）
注：教員には保育士を含む



岡山大学

学部長からのメッセージ

岡山大学教育学部長

高瀬 淳

私たちが生きる社会は、年齢、性別、人種、宗教、趣味嗜好などさまざまな属性の人が集まって形づくられています。この性質は、すべての人が平等に尊重され、それぞれの多様な価値が受け入れられることで、あらかじめ想定することが難しい将来の複雑な問題により適切に対応し、個人の成長や社会の発展が持続していくための強みとなります。

みなさんが高等学校や地域等で学び、具体的な活動に取り組んでいるSDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)も、地球上の「誰一人取り残さない」との考え方に基ついており、社会の多様性の高まりが、異なる価値をもった個人や集団の間につながりを生みだし、よりよい世界を実現する持続可能な社会変革の契機となることを期待しているといえます。

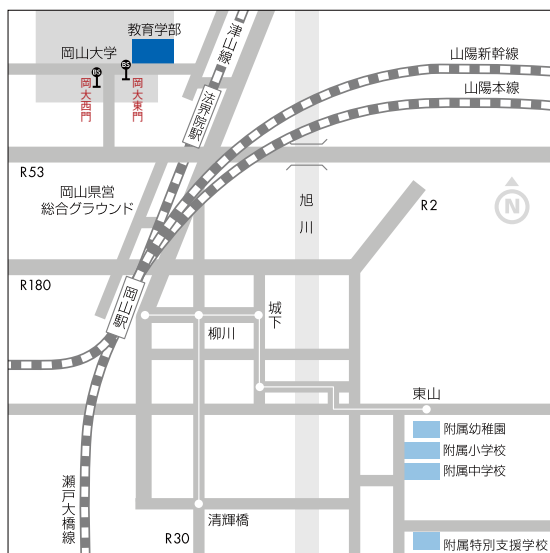
これからの学校では、未来の社会の創り手となる児童・生徒に、多様性の尊重に結びつく知識・技能や見方・考え方を身につけさせることが大切になります。SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」においても、持続可能な開発と持続可能な生活スタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力、グローバル・シチズンシップ、文化の多様性と持続可能な開発に向けた意義などを理解するため教育を進めていくことが掲げられています。そのような学校の教師は、できるだけ多くの「正解」を伝達するというよりも、児童・生徒一人一人が自分のよさや可能性を見つけるとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する環境をつくりだし、児童・生徒自身が主体的・対話的に深く学んでいくための支援を重視することが期待されます。

もちろん、こうした学校教育は、簡単に実現できることはありません。教科書などに記述されている内容を理解しているからといって、児童・生徒が主体的・対話的に学習する授業を行えるわけではありません。また、これまでに自分が受けてきた授業等のや

り方をまねるだけでは、日々、成長していく児童・生徒の特性や実態に応じた学習を支援できません。優れた教師となるためには、専門職としての総合的な知識・技能や高い倫理性などを大学での体系的な養成教育によって獲得する必要があります。

岡山大学教育学部では、幼稚園、小学校、中学校・高等学校、特別支援学校の教諭や養護教諭の免許状を取得することができます。令和5年度より、教育実習を機軸として、大学の講義・演習で習得した知識・技能等が、これまで以上に教育実践力の向上につながる新しいカリキュラムが始まっています。

同じ教師だけどちがう教師になろうという強い意欲をもったみなさんが、多くの仲間と関わり合いながら、未来の社会の創り手を育てる教育を探究していくことを応援します。



岡山大学HP「入試」にて
最新情報を必ずご確認ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>



アクセス

JR

岡山駅乗り換え、津山線「法界院」駅下車、徒歩10分

バス

岡山駅運動公園口(西口)から
岡電バス(岡山理科大学)行に乗車、「岡大西門」下車

岡山駅後楽園口(東口)から
岡電バス(御野校前・妙善寺)行又は(榊原病院前・妙善寺)行に乗車、
「岡大東門」下車(本路線は、市内を回るため時間がかかります。)



学 章

岡山大学 教育学部

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学教育学部教務学生グループ

Tel.086-252-1111 (代表) ※内線：7598、7599、7605

編 集：岡山大学教育学部・企画広報委員会

<https://edu.okayama-u.ac.jp/>



QRコード

岡山大学教育学部

検索